



□社会教育主事講習  
秋田開催

□ミニ解説  
社会教育主事と社会教育士

秋田県生涯学習センター（編集：社会教育アドバイザー）

## 社会教育

# 社会教育主事講習 今夏、秋田で開催

社会が急激に変化し、多様化する今日において、身近な地域にも様々な現代的課題が生じています。これに対し、学びを通じて地域の人々が連携・協働し、持続可能な地域づくりにアプローチできるように支援するのが、「社会教育主事」・「社会教育士」です。その役割の重要性は、ますます高まっており、より多くの人材の養成が図られています。

例年、北東北（青森県・岩手県・秋田県）では、資格取得のための講習が、各県2年ずつの持ち回りで夏季に開催されています。今年度は、秋田開催の1年目で、「令和4年度秋田県生涯学習センター社会教育主事講習」として開催されました。

## ＜令和4年度秋田県生涯学習センター社会教育主事講習の主な概要＞

- ・取得資格 社会教育主事となりうる資格（社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程）
- ・取得称号 社会教育士
- ・講習日程 オンライン講習 7月25日～8月5日／対面講習 8月8日～10日・16日～19日
- ・会場 オンライン講習 各県サテライト会場 or 勤務地等／対面講習 秋田県生涯学習センター
- ・開講科目 生涯学習概論、社会教育経営論、生涯学習支援論、社会教育演習（各2単位、各30時間）
- ・修了要件 開講4科目の単位修得（社会教育演習については、班別の研究報告書の作成を課す）
- ・受講者 教員、教育委員会職員、社会教育施設または社会教育団体関係者等 65名

## 双方向ライブ配信による新たな講習形式

Web会議システムによる開講式に臨みました。本講習の運営委員長である 倉田 寛行 秋田県生涯学習センター所長は、『人生100年時代』を迎えた我が国が抱える現代的課題に対応するための知識及び技能をしっかりと身に付けていただき、生涯学習・社会教育の分野で地域を牽引する存在になっていただきたい。」と挨拶し、実りある受講となることを期待しました。

前半期間のオンライン講習では、①「生涯学習概論」、②「社会教育経営論」、③「生涯学習支援論」（前半部分）が、科目順に開講されていきました。秋田サテライト会場（秋田地方総合庁舎）を覗くと、梅雨明け直後の猛暑日が続く中、真剣な面持ちでスクリーンを注視し、時には頷きながら熱心にペンをノートに走らせる受講者の姿が、大変印象的でした。受講者は、この前半を通して、①生涯学習・社会教育の変遷・目的・意義等、②今日の社会教育では、多様な主体との連携・協働を図りながら、人々の学習成果を地域の課題解決や地域学校協働活動等につなげていくことが重要であること、③生涯学習では、多様な学習者の各特性に応じた学習支援を適切に行うことが肝要であること、などを学び取っていました。

講義によっては、Web会議システムならではの集団会議機能を利用した協議場面が適所に設けられ、意見が交わされました。加えて、運営側の配慮で、昼休みには全参加者の姿が一堂に見られるよう演出され、遠隔地でもお互いの表情を知り、受講仲間とのコミュニケーションをとることができました。

## 集い、挑む「社会教育演習」

社会教育主事には、「コーディネート能力」・「ファシリテーション能力」・「プレゼンテーション能力」が必要とされています。また、地域をはじめ様々な状況における課題を把握し適確に見極める「分析力」が必要でもあります。後半期間では、画面を通して知り合った仲間たちとの対面が実現し、演習の中での協力を通して、これらを培うことが図られました。

「生涯学習支援論」（後半部分）では、受講者同士がコミュニケーションを図りながら頭や体を動かす演習場面が、ふんだんに設けられていました。会場内では、笑顔や充実した表情が各所で見られ、「集団の変

6年ぶりとなる秋田開催の本講習。受講者は、それぞれの会場で、



秋田サテライト会場↑

### ※ 社会教育主事 と 社会教育士 ※

「社会教育主事」は、「社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる専門的教育職員」で、都道府県・市町村教育委員会の発令があって、その職務に就くことができます。人材の育成や地域づくりの中核的な役割を担います。

「社会教育士」は、社会教育主事講習の修了者が、社会教育主事発令を受けていなくても名乗ることのできる称号です。令和2年度に創設されました。講習で培った専門性を発揮し、学びを通じた地域コミュニティの活性化を支援することなどが期待されています。



社会教育士

つながりを表すロゴ↑

化を学べ、新鮮だ。」「知識だけでは分からないことを多く学べた。」「共有できたことを早く子どもたちにも還元していきたい。」などの声が多く上がりました。

後半期間に控える講習の山場「社会教育演習」は、社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図ることをねらいとする科目です。本演習では、班毎に、テーマに対する事業計画を立案し、研究成果として報告書にまとめることが課題となります。研究報告書の完成は、修了要件であり、講習全体の総括でもあるため、とりわけ多くの時数が充てられました。しかしながら、今年度は、従来よりも極めて限られた時数での、本科目の履行を余儀なくされました。それだけに、各班苦心しながらも、高い集中力と緊密な連携をもって、これに挑みました。



初めは、皆、何から着手すべきか戸惑い、悩む様子がありました。そこで、各班担当の講師として招かれた秋田大学及び大学院の先生方からそれぞれが御指導を仰いだことで、進め方に光明を見出しました。その後、作業は、セクション毎に班内の小グループ単位で進められ、最後はそれぞれの成果を統合させることで完成の形を目指しました。講習で得た学びを指針に、課題分析や情報収集、文献調査を行い、幾度もの協議を重ねた末に、どの班とも講習の成果が存分に発揮された事業計画を仕上げました。

事業計画は全体会でのプレゼンテーションで披露され、これを終えたすべての受講者に、晴れやかさと安堵感を湛えた表情が浮かび、期間中伸ばし続けていた背筋が和らぐ様を見ました。

## < 「社会教育演習」における班別テーマと研究タイトル・概要 >

- |     |   |
|-----|---|
| 1 班 | テーマ：地域社会における人権・SDGsに関する課題分析と事業計画の立案<br>➡研究タイトル「地域社会における人権・SDGsに関する課題分析と考察・提案」<br>概要 人づくり/まちづくり  |
| 2 班 | テーマ：地域社会における子どもの学びと活動に関する課題分析と事業計画の立案<br>➡研究タイトル「子どもを中心とした学校と地域の豊かな連携・協働についての研究」<br>概要 子どもが生き生きしている地域/子どもを主体とした学校と地域の連携・協働/学校・地域の円滑な連携を支える推進員の役割/学校と地域の情報共有の事例から見える課題 |
| 3 班 | テーマ：地域社会におけるICT活用に関する課題分析と事業計画の立案<br>➡研究タイトル「ICTの普及化と生活の向上における社会教育主事の役割」<br>概要 ICT格差/インターネットトラブル/ICT弱者に対する支援/ICTと地域活性化/ICTによる地域共同体の再生                                 |

## < 講師講評 >

- |           |   |
|-----------|---|
| 佐藤 修司 教授  | 「研究内容に敬意を払いたい。事業計画の実現には、自分たちだけでなく様々な支援を受けて取り組むことが必要である。」    |
| 細川 和仁 准教授 | 「短期間によくまとめられた研究内容だった。研究では、『問いを立てる・答えを導く・論証する』の構造が重要である。」    |
| 野村 駿 助教   | 「多くの事例に富んだ研究内容だった。事業計画では、社会教育主事の専門性をぜひ発揮して、課題のクリアにあたってほしい。」 |

## 今夏に結んだ仲間との“絆”

迎えた閉講式では、倉田委員長が、「講習で得たネットワークを最大限に活用して、誰かを助け、誰かに助けられながら地域や学校、住民のために力を発揮してほしい。」と述べ、『人はたった一人の出会いで変わる』との言葉を添えました。続いて、中田 善英 生涯学習課長からは、「本講習を通して、広がった視野、得られた知見をこれからの生涯学習や社会教育の実践に生かして行ってほしい。今後、それぞれの地域や立場において、『人づくり・つながりづくり・地域づくり』の核となって活躍することを願っている。」との期待を込めたエールが送られました。これを受けた受講者代表 青森県教育委員会下北教育事務所 藤田 幸博 さんが、「この先、社会教育主事として困った際は、ここで一緒に学んだ同期の面々に相談し、悩みを共有したい。どこにいても支え合いの気持ちを持って活動していこう。」と、仲間と築いた絆の強さを噛みしめながら、意気高く結びの辞として答えました。閉式後、輪になって互いの努力を讃え合い、再会を約束する受講者の姿が見られました。

異例づくしの難しい状況での受講を迫られたことにとどまらず、感染者数の急増、北東北の大雨被害といった身近な懸念も乗り越えて、受講者は暑くて熱い全17日間を完走しました。社会教育主事・社会教育士として、ここからがスタートとなりますが、志灯る受講者のその目には、各地の生涯学習・社会教育分野で邁進する自身の将来の姿が、既に映っているかのようでした。

